

うえだ

上田みのり

目黒区議会議員 区政報告

Profile プロフィール

- ◎ 中学2年生で看護師になる事を決意。その後は聖マリア学院短期大学を卒業し、福岡県内の病院勤務
- ◎ 2017年 上京、救命救急現場ののち、東京都コロナ対策事業勤務
- ◎ 看護師教育責任者、医療コンサルタント、看護専門学校非常勤講師など
- ◎ 2023年 目黒区議会議員に初当選
看護師経験を生かし区民の命と暮らしを守る

モノ言う
看護師!区民の命と
暮らしを守る

ごあいさつ

2024年は生活福祉委員会の副委員長として、多くの学びと実りを得た一年となりました。特に、複雑な医療介護福祉制度に対し、看護師としての専門的な知見を活かした質疑を行うことで、深い政策論議を重ねることができたと感じています。

また、その内容をわかりやすい言葉で区民の皆様にお伝えすることで、不安の解消に少しでも貢献できれば幸いです。

これからも、看護師という専門職ならではの視点で見える課題や、独自の解決策を打ち出し、区民の皆様の笑顔の花が咲き、幸せが実る目黒区の実現に向けて邁進してまいります。

目黒区議会議員 上田みのり



大切なお知らせ 離党・会派離脱しました

SNS等でも報告させていただきましたが、昨年末に大きな決断をしました。

私、上田みのりは、目黒区議会交渉会派「めぐろの未来をつくる会」を令和6年12月11日をもって離脱いたしました。所属政党の都民ファーストの会についても12月3日付けで離党しました。

これまでの、会派内の過半数に意見を合わせる必要がありましたが、**これからは区民の皆様から頂いた声を、一議席の重みとともにまっすぐに議会に届けます。**

また、**政党の枠組みを超え、自身の信念に基づいた発言**をしてまいります。

私は、看護師として臨床にいた時から「患者さんのためか?」を常に問い続け、主語を見失わないことを大切にしてきました。

今まで以上に「区民のため」という主語がぶれることのない一議席を守り、その責任を果たしてまいります。

テーマカラーは、政党カラーの緑から、心機一転、何色にも染まらない「しろ」といたしました。**区民の皆様の声、一つひとつを大切に受け止め、誠実に区政に反映していく決意**を表しています。

さあ、「うえだみのり」らしさを全開に、「区民」が主語である政治を行い、「みのりあるめぐろ」を皆様と共に創って参ります。今後とも、変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

討論 目黒区職員の
ハラスメント防止に関する条例

「ハラスメントとは何か」を一人ひとりが認識できるよう、実際の実例を提示しながら説明に努めました。加えて、ハラスメント根絶への私自身の断固たる取り組みを誓い、賛成討論をいたしました。

討論 目黒区手話言語条例

一緒に取り組むことをお伝えしたく、一部ではありますが、手話で賛成討論を行いました! これからが第一歩です!

第1回定例会 / 予算特別委員会

- 3月6日 本会議にて賛成討論をいたしました!
- 第8条目黒区職員のハラスメント防止に関する条例
- 第11条手話言語条例



討論 令和7年度目黒区一般会計予算

区長任期残り2年で区有施設はもちろん、地域コミュニティ等の山積したままの課題解決に取り組み、政治生命を燃やし尽くすほどの情熱をもって区政運営に取り組み、青木区政で築いたものが未来へ負の遺産を残すことにならない状況で旅立つこと「立つ鳥、跡を濁さず」を行うことを強く要望します。



● 予算特別委員会

3月11日
総括質疑3月13日
健康福祉費予算特別委員会
賛成討論

1時15分~

地域活動も全力で取り組みます



消防団も看護師も頑張っています

発行元 / お問い合わせ先
目黒区議会議員

上田みのり

TEL 080-5831-4099

WEB uedaminori.com

Mail・minoru.ueda1203@gmail.com

Instagram
@minoru_ueda1203LINE
健康に関する情報など
メッセージもどうぞ



モノイク
看護師！
区民の命と暮らしを守る

モノイク看護師議員 上田みのりの保健室

目黒区の財政の健康状態は不健康！「超重症状態」です！

今回の財政計画をふまえた積立基金残高と区債残高の試算について示されたグラフでは、解体費用等を起債せずに一般財源から計上し、未来の負担を減らす努力がなされています。また、物価上昇率も反映されています。しかし、あくまでもこの試算は**学校施設の更新のみ**を考慮

したものであり、その他の区有施設の更新費用は含まれていません。つまり試算では、基金と区債の逆転が生じ始めるのは令和15年とされていますが、仮に他

の区有施設の更新を進めれば、その逆転は大きく前倒しとなると予想されます。したがって、**起債を行わずに示されたグラフは、未来への負担を減らす努力というよりも、負担を隠しただけであるといえるでしょう。**

ちなみに、学校を含まない区有施設のうち修繕費を含まない**ランニングコストは、毎年23億円**かかっています。（令和4年度時点の総額）

これら施設は老朽化により順次建て替えが必要となりますが、建て替えてまで維持できない危機的財政状況です。

この問題については、発生することが分かっていながら、先送りにした結果だと思っています。

区長は、任期中に方針を示すとは言っていますが、**方針を示すだけ**です。「**その先は次の区長がお決めになること**」と、**残念ながら丸投げ**のようです。

区有施設の今後のあり方については、「本当に必要

なのか？」という視点から、維持する施設と売却・賃貸活用する施設に分ける検討が必要だと考えます。

「区民が利用する施設が足りなくなるのでは？」という意見もあると思います。その場合、売却資金で基金が積みあがるため、区はその部屋を賃貸契約で借

りことができます。施設の賃料は、基金と貸室の利用料で支払うことができます。稼働率が高ければ基金からの繰り入れも少額にでき、一方で稼働率が低ければ賃貸契約を

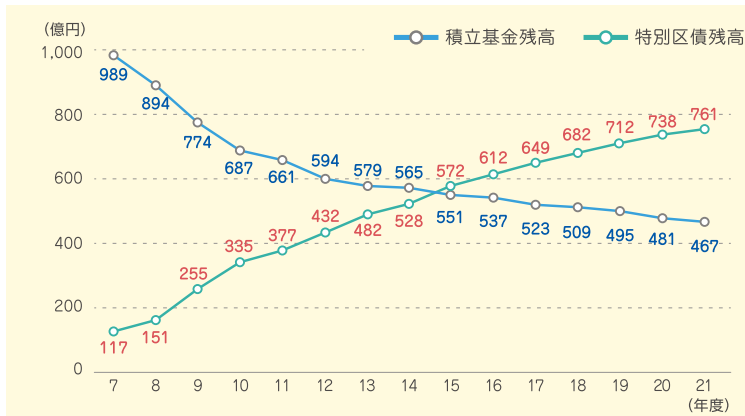
終了することで無駄な維持管理費用を減らし、コストは大幅に削減されます。

区が所有すべき不動産、所有せずとも対応できる不動産の整理が必要であると思います。

区民センターにしても、区が入りたい設備・施設をすべて入れようとした結果、金額が跳ね上がり白紙に戻ったという経緯です。しかも、**7年もかけて取り組んできた大型事業の白紙**。

議会からは「7年待った」などの声が上がっていましたが、1期目議員の私からすれば、議会側のこれまでのチェック機能にも問題があったのではと疑念を抱きます。

この状況を、区民の皆様はどうお考えになりますか？



区民の「命」・「絆」・「暮らし」・「未来」を守る！

2年間の実績！！

上田みのりの政策4つの守る！進捗状況

一般質問初登壇！

ペットの公園利用ルールの見直し

10年ぶりの公園の在り方調査の実施
都立林試の森公園とともに活動させていただいたボランティアの方々の頑張りでイベント型のドッグラン実施決定！



地域共生社会の実現へ！

●目黒区手話言語条例の制定



一部手話による賛成討論

区民の命を守る！

●防災、水防フェスタで業者による消化器や防災グッズ購入ができるよう要求しました

⇒令和7年実施予定

●AED設置空白地域への設置を要求しました

⇒時間的距離の空白地域の調査を開始しました



子どもの居場所づくり

●令和7年長期休暇中のらんらんひろば昼食提供も開始の方向！

⇒令和6年度のアンケート結果を踏まえて調整



ライフワークとして、自身でも子供の居場所づくりを月に1回開催しています

その他の取り組み

プレミアム商品券事業の実施！

⇒委員会で要望し、補正予算で予算化

ケアマネジャーの処遇改善 1万円補助

⇒東京都への要望が実現

介護人財の確保・質的担保！

⇒介護職補助者の確保事業への参加 開始予定！

⇒目黒区社会福祉事業団へのコンサル委託

戦後80年平和事業

⇒中高生広島派遣者数増員

令和7年度 都市環境委員会

都市開発はもちろん、看護師の視点を活かした「公衆衛生」「バリアフリー」などに力をいれて取り組みます

- 第2回定例会(6月中旬～)
- 消防団操法大会2度目の出場
- 第3回定例会＋決算特別委員会(9月ごろ)
- 委員会視察(10月ごろ)
- 第4回定例会(11月下旬～12月上旬)

令和7年度の予定